

Vol.99 「先生の仕事」

近年、学校の先生が過度のストレスや長時間労働などが原因で、うつ病などの精神疾患を発症し、休職に陥るメンタルヘルスの問題が取り沙汰されています。「教師の仕事は大変だ」と言われていますが、実際はどのような状況なのでしょうか？今回は小中高校の教員を対象に、仕事の忙しさやストレスの有無、仕事上で困っていることについて調査しました。

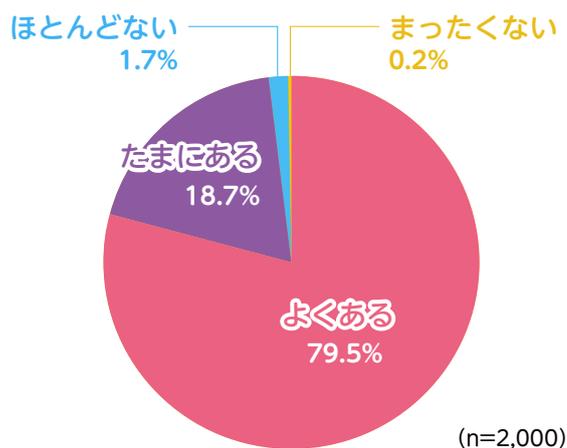


調査概要

調査対象：小中高校の教員2,000人
 調査方法：インターネットリサーチ
 実施時期：2014年2月

Q 1. 仕事の忙しさ

仕事が忙しいと感じることは、「よくある」(79.5%)という回答が約8割と多く、「たまにある」(18.7%)をあわせると、ほとんどの教師が仕事に対して忙しいと感じています。

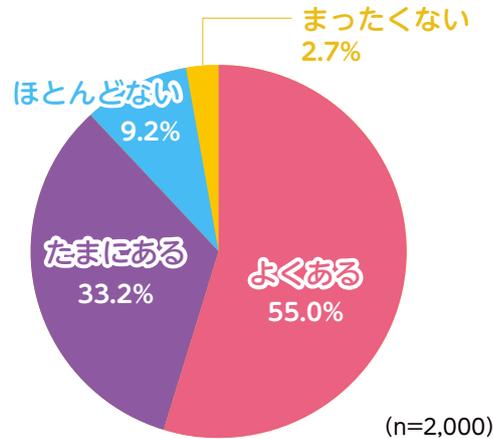


※グラフの数字は、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります

【図1】 仕事をする上で、忙しいと感じることはありますか？（単数回答）

Q 2. 休日出勤の有無

土日祝日などの休日出勤については、「よくある」(55.0%)、「たまにある」(33.2%)という状況で、補習授業や生徒指導、行事・研修、クラブ・部活動などで休日出勤をすることがあると回答しています。

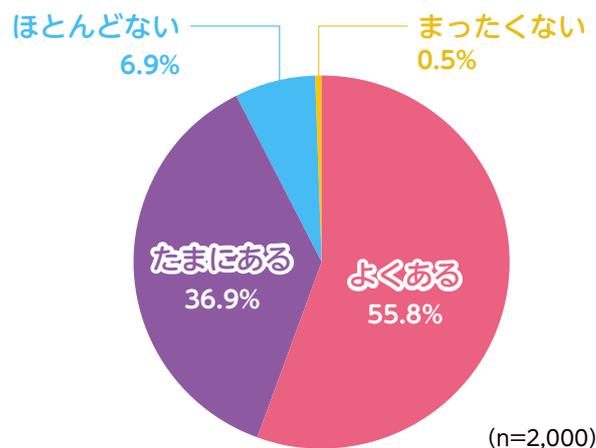


※グラフの数字は、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります

【図2】 土日祝日などに、休日出勤をすることはありますか？（単数回答）

Q 3. ストレスの有無

仕事や職場でストレスを感じる事が、「よくある」(55.8%)と「たまにある」(36.9%)をあわせると、教師の9割以上がストレスを感じるがあると回答しています。

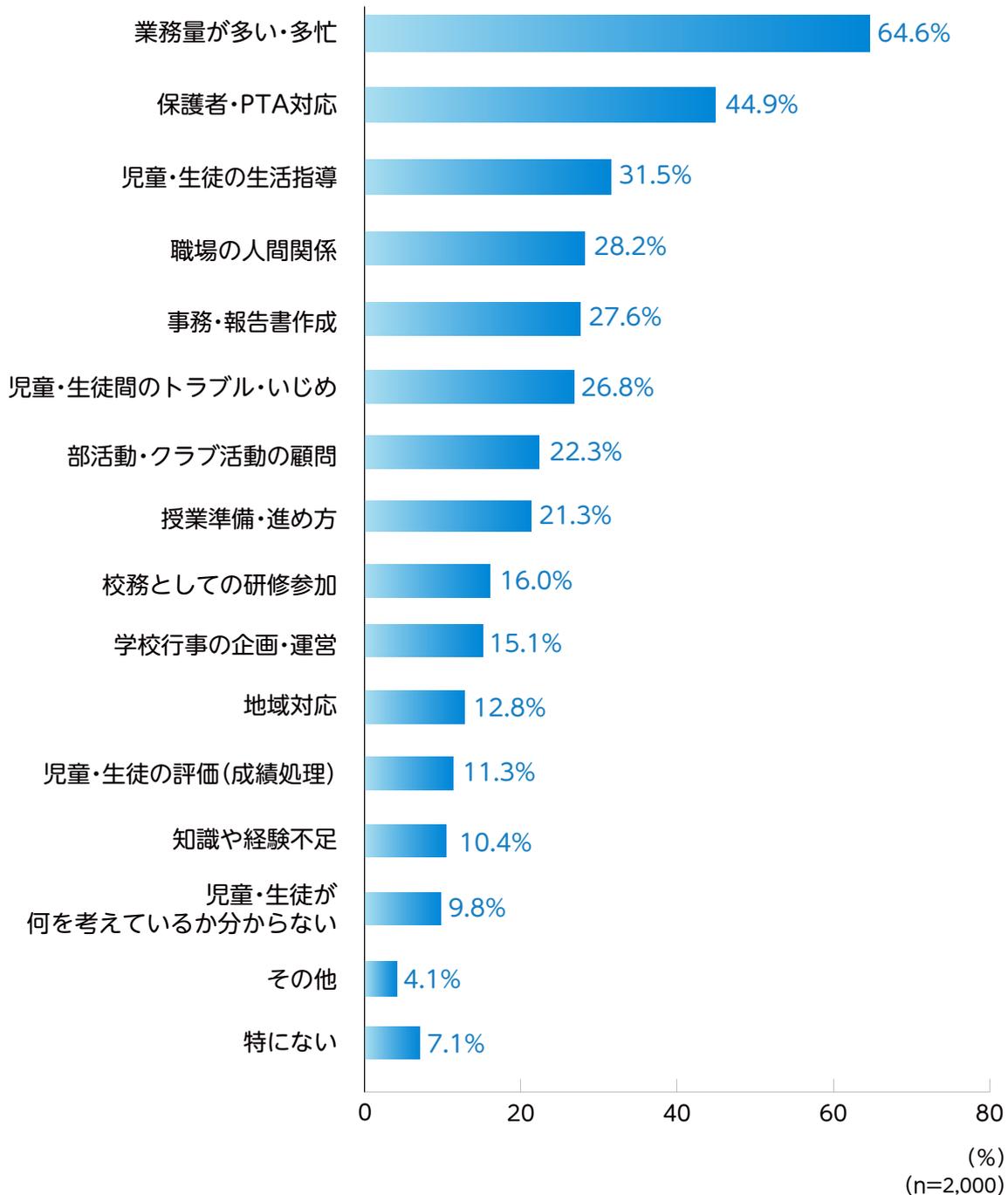


※グラフの数字は、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります

【図3】 仕事や職場でストレスを感じることはありますか？（単数回答）

Q 4. 仕事上で困っていること

教師自身が仕事をする上で困っていることや負担に感じていることは、「業務量が多い・多忙」(64.6%)が最も多く、次に、「保護者・PTAの対応」(44.9%)、「児童・生徒の生活指導」(31.5%)、「職場の人間関係」(28.2%)があげられています。



【図4】 あなた自身が仕事をする上で、困っていることや負担に感じていることは、どのようなことですか？（複数回答）

 **まとめ**

文部科学省が公表した「平成24年度公立学校教職員の人事行政状況調査結果」によると、教職員の病気による休職者数は8,341人、そのうち精神疾患による休職者数は4,960人に及び、病気休職の全体の約6割を占める状況となっています。これほどまでに、多くの教師がメンタルヘルスに不調をきたすには様々な原因があるようです。今回の調査では、小中高校に勤務する教師の約8割が、仕事が忙しいと感じることが「よくある」(79.5%)と回答しており、休日出勤については、「よくある」(55.0%)、「たまにある」(33.2%)という状況で、多くの教師が補習授業や生徒指導、行事・研修、クラブ・部活動などで休日出勤をしていることから、教師の仕事が多忙であることがわかります。また、仕事や職場でストレスについては、「よくある」(55.8%)と「たまにある」(36.9%)をあわせると、教師の9割以上がストレスを感じていると回答しています。その主な要因としては、「業務量が多い・多忙」(64.6%)、「保護者・PTAの対応」(44.9%)、「児童・生徒の生活指導」(31.5%)、「職場の人間関係」(28.2%)などがあげられていました。

多くの教師がメンタルヘルスに不調をきたす原因としては、業務過多による肉体的な疲労に加え、教育内容の変化や児童・生徒・保護者への対応など精神的なストレスも背景にあるようです。子どもたちのためにも、教師が健康で職務に専念できる学校環境づくりが求められています。

毎月最終
火曜日
更新

KANKO ホームルーム ~学生を読み解くデータ集~

KANKOホームルームは、学生を取り巻く環境や子どもたちの意識・ライフスタイルについて、多角的に調査・分析し、その結果をお届けしています。
ホームページでは、今回ご紹介した調査データ以外にも様々な情報を掲載しております。

検索<http://kanko-gakuseifuku.co.jp>